

相生っ子

<教職員の本年度重点目標>
児童が主役の学級・学校づくりと
ICT 活用による学びの充実



令和4年9月9日 相生小学校 校長室だより

第16号 文責：岩佐隆之

コロナ感染予防や臨時休校へのご理解、ご協力、ありがとうございます

今週に入り、本校は落ち着いてきましたが、町内や他校では、感染が相次いでいます。学校では、感染予防対策を続けながら、日々の教育活動を進めています。2学期が始まって1週間。運動会の練習も始まりました。熱中症にも気をつけてまいります。ご家庭でも、お子様の体調管理をよろしくお願いいたします。また、6日（火）の臨時休校も、お世話になりました。大きな被害がなく、よかったです。

相生っ子の学びを保障するために、オンライン授業が始まりました。

いつ、誰が感染するかわからない中、今週から、学校と家庭をつないでのオンライン授業を始めました。新学期になってすぐに準備を進め、予定より早くできました。昨年度の経験も生きています。朝の健康観察や教科等の学習など、子どもたちの体調や時間割に合わせて行っています。

家庭のご協力もあり、オンラインで参加している子どもたちはとても意欲的で、進んで発言する姿も多く見られます。1年生も準備を進めています。ただ、充電や接続の時間、聞き取りやすさ等の課題もあり、教員が相談しながらよりよい解決に努めています。

相生っ子全員がステージ上で決意を述べた「2学期のめあて発表会」

8月25日（木）の始業式の後、「2学期のめあて発表会」を体育館で行いました。相生っ子一人一人が、学年順に登壇し、漢字、計算、自主勉強、発表、運動会を頑張る、よい姿勢、テストで100点をとる、字を丁寧に書く、そして、あいさつや草抜き、「低学年のお手本になる」「下級生を支えたい」「中学校に向けて勉強を頑張る」等の具体的なめあてを発表しました。学年が上がるにつれて、下級生や学校のために行動したいとの思いが伝わり、とても頼もしかったです。2学期の終業式では、「めあてが達成できました」「達成に向けて努力しました」と発表ができるように、週末や月末には自分のめあてを振り返って、できたかどうか確認していきましょう。

始業式では、「多くの行事がある2学期は、大きく成長する機会です。知恵と工夫を出し合って、できることを考えてやっていこう。」「学校の主役は、相生っ子の皆さんです。家族や地域の方への感謝の気持ちをもって、何事にも前向きに取り組んでいこう。」と私から話しました。

（裏面もご覧ください。）





晴天に恵まれ、仲良く、思い切り楽しんだ「町連合集団宿泊学習」

台風の影響で、開催すら危ぶまれた宿泊学習でしたが、2日とも昼間は晴天で、予定していた活動をほぼ全て行うことができました。町内の5年生が一堂に集う機会であるとともに、みんなで牟岐少年自然の家に1泊して、「同じ釜の飯を食べる」ことも、得難い経験です。来年4月から一緒に机を並べる平谷っ子3名だけでなく、木頭小や鷲敷小の子とも少しずつ話をする姿も見られ、本当によかったと思っています。



1日目。結団式と入所式、昼食の後は、プールでの「フィン（足ひれ）活動」。最初はフィンがうまくつけられなかったり、フィンが重くて泳げなかったりしましたが、しだいに上手になり、後半は、プールの中でフィンを着脱したり、うまく泳いだり回転したりできるようになってきました。その後は、いよいよ海岸に向かい、救命胴衣をつけ、足の立たない沖合までみんなで泳いでいきました。丁度よい水温で、海中の魚が見えた子もいました。おかわりした子もいた夕食の後は、キャンプファイヤー。火の神や巫女が運んできたたき火を囲み、学校紹介を行いました。そして、一緒にお風呂に入り、部屋でおしゃべりを楽しみました。なかなか寝付けなかった子もいたようで、話し声が聞こえる部屋もありましたが、日が変わる頃にはみんなよく寝ていました。



2日目は、6時起床。眠い目をこすりながらも、「朝のつどい」ではみんなでラジオ体操。朝食の後は、船でのクルージング。波が高かったため牟岐大島での活動はできませんでしたが、波しぶきをいっぱい浴びて、みんなびしょ濡れになることを楽しんでいま



した。そして、海岸での海水浴。時間もたっぷりあり、私はこれがいちばん楽しかったです。初めて海水浴をする子もいて、大きな波が来る度に歓声を上げていました。うまく波に乗れるといいですが、回転したり、波打ち際まで打ち寄せられたりしながら、海水の塩辛さも味わい、みんな笑顔でした。きれいな貝殻を見つけて、持って帰った子もいました。昼食のカレーは3杯もおかわりした子もいました。抗原検査は全員陰性で、退所式と解団式の後、安心して帰りのバスにのりました。

一人一役、二役となった、代表あいさつや司会、国旗等の掲揚、火の守、ラジオ体操等の役割も、それぞれよく頑張り、5分前行動もよくできていました。さまざまな場面で、相生っ子の優しさや素直さ、仲の良さも、改めて感じました。ただ、50名と一緒に活動する中で、全体で話す時の声の大きさや言葉づかい、履き物の整頓、グループ全体での行動等、見えてきた課題もあります。学校を代表する高学年として、ひとつずつできることを増やして欲しいと願っています。



(裏面もご覧ください。)